

西東京市役所 FSプログラム サマー子ども教室

プログラム概要	: 3つの小学校での子供たちのレクリエーション活動の支援
実習先	: 谷戸第二小学校、栄小学校、田無小学校
実習先情報	: 西東京市内に設置されている市立の小学校
参加人数	: 4名
学部学科	: 幼児教育学科、教育学科、社会福祉学科
実習期間	: 令和7年8月4日～8月27日
本学担当教員	: 水越俊行先生

○はじめに

今回のサマー子ども教室では、第一週目に谷戸第二小学校、第二週目に栄小学校、第三週目に田無小学校に子育て支援の充実を図り、子どもが安全安心に過ごせる夏の居場所を確保することを目的として実習を行った。

サマー子ども教室では1クール約20人ほどの小学生とペーパークイリングや空気砲の工作に加え、企業の方に来ていただいて行う出前講座など、私たちはその指導や補助をメインとして活動し最終日には実際に自分たちでペーパークイリングや空気砲の指導を行う。

○実習内容

11日間で3つの小学校に伺い、児童館職員の方や地域の方、企業の方と協力して児童と工作などを行う。

谷戸第二小学校

第1クール 第2クール(8月4日、8月5日)

- ・ 工作「ペーパークイリング」「空気砲」

ペーパークイリングは細長く切った画用紙を使って、上部に溝を作った短く切った竹串で巻き取り、さまざまな形のパーツを作り、それらを組み合わせて作品を仕上げるペーパークラフトのこと。

空気砲はペットボトルの上部に風船を貼り付けて空気を出すおもちゃで、各自的を作り、空気砲を用いた的を倒して遊ぶものこと。

- ・ 企業出前授業 日本製紙連合会

日本製紙連合会の方の講義（紙がどうやってつくられているか）の後、紙を破いた切り口や水に入れて溶けた紙をループで観察。

紙のルービックキューブを作る。

第3クール 第4クール（8月6日、8月7日）

- ・ 企業出前授業 キューピー

キューピーマヨネーズの方の講義（マヨネーズについての説明と動画視聴）の後、実際にマヨネーズを作り、市販のマヨネーズと自分で作ったマヨネーズの違いについて考察。

- ・ 工作「ペーパークイリング」「空気砲」

第1クール、第2クールと同内容

栄小学校

第1クール 第2クール（8月19日、8月20日）

- ・ 企業出前授業 東罐興業

東罐興業の方の講義（紙に印刷される仕組みについて）の後、印刷されたコップを使い、カッコウ笛を作成。

- ・ 工作「ペーパークイリング」「空気砲」
谷戸第二小学校 第1、第2クールと同様。
第3クール 第4クール（8月21日、8月22日）
- ・ 企業出前授業 キューピー
谷戸第二小学校 第3、第4クールと同様。
- ・ 工作「ペーパークイリング」「空気砲」
谷戸第二小学校 第1、第2クールと同様。

田無小学校

第1クール 第2クール（8月25日～8月27日）

- ・ 工作「ペーパークイリング」「空気砲」
谷戸第二小学校 第1、第2クール同様。
- ・ 企業出前授業 雪印メグミルク
雪印メグミルクの方の講義（牛乳やリサイクルについて）の後、牛乳 パックを使い、ソーマトロップを作成。

○提案したこと、発信したこと、等

田無小学校での工作の授業の進行は学生が行った。今までの先生の進行を参考に、工作の説明を担当した。

○経験したこと、学んだこと

この活動に参加した4名全員が子ども関係の職に就くことを検討しているため、今回のFSはとてもいい経験になった。普段子どもと接する機会はほとんどないので対応が難しいと思う場面も多かったが、西東京市役所の方や地域の方、学生同士で協力しあうことができた。

○今後の展開、今後の学び

幼児教育学科、教育学科、社会福祉学科でそれぞれ教育実習や福祉施設での実習を実施予定。学科はそれぞれ違っていても人と関わる仕事に就こうとしていることは変わらないので今回のFSは必ず役に立ってくると感じている。座学では学ぶことができないような実践的な経験をすることができた。

○まとめ

私たちは今回、「大きな声で、明るく、仲良く、元気良く、メリハリをつけて頑張る」、「子どもの話をちゃんと聞く」、「子どもと同じ立場になって楽しむ」を目標として各々が子どもたちと向き合った。小学生と歳が離れているため仲良くできるのか不安もあったが、日を重なるにつれ信頼関係を築けてきた。今回の経験で得たことを大切にして、これからそれぞれの学科での学びを頑張っていきたい。